

KIEF NEWS

No.88 2021.9

TOPIC

- 1 コロナ禍でのボランティア活動
- 2 事業報告
- 3 お知らせ

★TOPIC 1 コロナ禍でのボランティア活動

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当財団のボランティア活動も中止や制限を余儀なくされました。対面式のイベントや講座もオンラインでの実施となり、これまで共に運営に携わっていただいているボランティアのみならず、まへの活動の提供もままならなくなっていました。

しかしながら、そんなコロナ禍においても、金沢国際交流財団で今年度新たに実施した、またはこれからスタートするボランティア活動についてご紹介したいと思います。

外国人母子通訳ボランティア

近年、家族の呼び寄せや国際結婚などにより、金沢市で妊娠・出産・子育てをする外国人が増加しています。そこで、昨年度当財団では、母子保健分野における通訳ボランティア育成セミナーを開催しました。そのセミナー受講者23名が「外国人母子通訳ボランティア」として登録し、今年4月から金沢市泉野、元町福祉健康センターで活動にあっています。

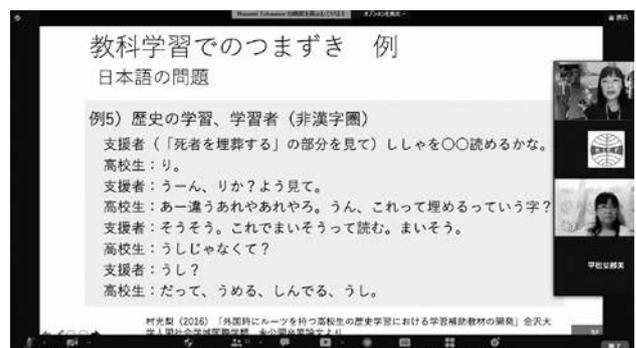
福祉保健センターでの健康診査は、子どもの発育や発達状況、健康状態を確認するとともに、子育ての相談ができる大切な場です。日本と母国では子育ての文化や制度に違いがあり、不安や戸惑いを感じる外国人も少なくありません。通訳ボランティアは、言葉の通訳だけではなく、彼らを持つ異なる文化や習慣の違いにも注意を払いながら、外国出身ママが安心して子育てできる環境づくりのサポートをしています。



日本語ボランティア研修 ～外国にルーツのある子どもの日本語サポート～

金沢市は、全国的に見ると在留外国人が多い地域ではありませんが、少しずつ外国人住民の数が増加しており、それに伴い、外国にルーツをもつ子どもの数も増えています。そこで、今年度は日本語指導が必要な子どもについての理解を深め、「子ども」の日本語学習支援活動につなげることを目的に、「外国につながる子どもの日本語サポート」をテーマとしたオンライン研修を行いました。当財団の日本語ボランティアや「子ども」の日本語学習支援に関心のある方に参加を呼びかけた結果、8月9日(月)開催の第1回「外国につながる子どもの現状と課題」(講師：金沢大学 深澤のぞみ先生)には29名、8月11日(水)開催の第2回「子どものための日本語学習テキスト」(講師：石川県日本語講師会 鹿野みどり先生、古林秀美先生)には21名が参加しました。

研修を受講した参加者の中で、「子ども」の日本語学習支援活動を希望された方には、研修後、石川県日本語講師会の先生方による日本語指導を見学して頂き、9月からは「子ども」の支援を始めて頂くことになりました。今後、地域の方々や関係機関と力を合わせながら当財団でも「子ども」支援を進めていきたいと思っています。



★ TOPIC 2 事業報告

オンラインで♪アメリカってどんな国？&英語であそぼう！

5月29日(土)

アメリカ出身の国際交流員ロスマン・ヘイリーさんが講師となり、アメリカ文化紹介オンラインイベントを開催し、小学1～3年生の13名が参加しました。ヘイリーさんからアメリカは多様な人種の人々がともに暮らす多民族国家であることや、日本とアメリカの小学校生活の違いなどについてお話しを聞きました。その後、簡単な英単語を使ったゲーム「借り物競争」を行いました。英語で出題されたモノを家の中から制限時間内に探し出すというものです。"Umbrella (傘)"など、お題を聞かずに一目散に探しに行き画面から消え、お題のものを握りしめ満面の笑みで戻ってくる子どもたちの姿が微笑ましかったです。子どもたちはオンラインでも積極的に楽しみ、アメリカの文化に親しんでくれたようです。



せかいのおともだちをつくろう ～杜の里児童館共催事業～

6月19日(土)



杜の里児童館で、日本人親子と外国人親子の交流イベント「せかいのおともだちをつくろう」を開催しました。このイベントは、同じ地域に住んでいてもなかなか接する機会のない日本人と外国人の親子が知り合い、交流するきっかけを作りたいという思いで、毎年杜の里児童館と協力して実施しています。当日はあいにくの雨でしたが、日本人親子4組（内、国際結婚家庭1組）とインドネシア人親子3組、そして児童館の子どもたち、合わせて30人ほどが参加しました。日本語とインドネシア語での絵本「くりとぐら」の読み聞かせや、親子同士でペアを組んで交流しながらのプラ板づくり、けんだま大会など、遊びを通して交流を楽しみました。

第28回北陸都市国際交流連絡会総会・研修会の開催

7月2日(金)

北陸3県の都市の国際交流担当課及び国際交流協会が加盟する「北陸都市国際交流団体連絡会」の総会及び研修会をオンラインにて開催しました。今年度は、加盟23団体から44名が参加しました。研修会では、公益財団法人仙台観光国際協会の菊池哲佳さんが講師を務め、「ウィズコロナにおける外国人への情報伝達について～外国人相談窓口の事例から見る課題や対策など～」と題して、お話しいただきました。コロナ禍だからではなく、平時から、「外国人コミュニティ」と多様な接点を持ち、受け手の気持ちを配慮した情報発信をこころがけること、さまざまなかたちと方法で情報を届けることの大切さを教えていただきました。



留学生とホストファミリーのオンライン交流

7月25日(日)



新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、2020年度より中止していたホームビジットの代わりとして、オンラインによる留学生とホストファミリーの交流会を実施しました。

当日は、ホストファミリー5家庭と留学生5名がペアとなり、オンラインミーティングツール「Zoom」を使用したチャットを楽しみました。画面越しの対面で、初めは緊張の面持ちだったホストファミリーや留学生も、ワクチン接種のことや映画やアニメ、スポーツなど趣味についてお話しし、日本の家庭生活や留学生の国の紹介など、双方が積極的に質問するなど、時間を経るごとに会話が弾んでいました。

暑さを吹き飛ばせ！夏の韓国料理講座

7月30日(金)

韓国出身の国際交流員キム・セヨンさんが講師となり、夏をテーマにした韓国料理講座を実施し、11名が参加しました。調理前には韓国の夏の過ごし方、暑さで疲れた身体を癒す食事や、土用の丑の日の韓国版「伏日（ボンナル）」についてなど興味深いお話を聞かせて下さいました。

今回作ったお料理は、豆乳麺（コングクス）・浅漬けキムチ（コッチョリ）・じゃがいもチヂミ（カムジャジョン）の3品。特に豆乳麺は、日本の冷やし中華のように夏定番の存在なのだとか。ひと粒ずつ水煮大豆の薄皮を剥いたり、じゃがいもを丸ごとすりおろしたりと丁寧に調理し、出来上がった栄養たっぷりのお料理にお腹も心も大満足でした。



技能実習生生活ガイダンス

8月4日(水)



金沢市でも近年、技能実習生が増えていますが、金沢市のかたつ工業団地内にある株式会社アイデンで、ベトナム人技能実習生8名に対し、生活ガイダンスを実施しました。防災や交通マナー、家庭ごみの分け方・出し方など、クイズを取り入れながら確認していきました。また、事故や火事などの緊急時に役立つ日本語として、電話で救急車や消防車の呼ぶ練習を行いました。実習生のみなさんは、地震発生時の基本行動や自転車の基本ルールについて、しっかりマスターしていました。また、住んでいる地域の洪水ハザードマップを参考に、大雨による水害を想定した「浸水予想区域図」や、水害や大地震が起こったときの近くの指定避難所などを確認しました。

この日は、金沢市の委託を受けて発行している外国人市民向け生活情報冊子「あなたも金沢市民～金沢生活ガイド～2021」のベトナム語版を実習生たちに配布しました。生活に必要な情報が多言語される中、ベトナム語による情報はまだまだ少ないので、ぜひ活用してもらいたいです。

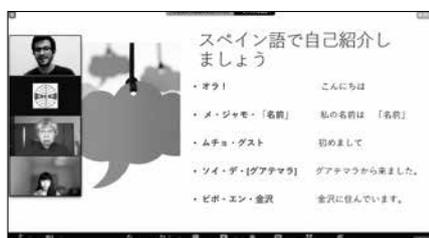
「あなたも金沢市民
～金沢生活ガイド～2021」
ベトナム語版



もっと知りたい！世界のこと 国際理解サマープログラム

8月9日(月)・17日(火)・27日(金)

金沢市在住の外国人を講師に招き、それぞれ出身国の文化や言語や魅力を紹介する国際理解講座をオンラインで開催しました。第1回はグアテマラで、現在旅行会社に勤めるアレハンドロ・ファジャ・ディアスさん、第2回はマレーシアで大学院生のリム・シオンさん、第3回はベトナムで同じく大学院生のグエン・ミンティーさんに講師を務めていただきました。第1回は8名、第2回は9名、第3回は9名の方が参加しましたが、少人数だったからか、講師と参加者が画面上でやりとりをしながら、良い雰囲気での講座が進みました。このプログラムを通してそれぞれの国の文化への関心が高まり、国際理解も深まったのではないのでしょうか。秋から冬にかけてもシリーズで講座を開催する予定です。次回もどうぞお楽しみに！



★ TOPIC 3 お知らせ

かなざわ国際交流まつり2021

石川県内の国際交流団体が参加する北陸最大級の国際交流イベント「かなざわ国際交流まつり2021」を、金沢市庁舎前広場で開催します。世界のさまざまなダンスや楽器演奏などが楽しめるワールドステージや、世界の料理やスイーツが味わえるテイクアウトグルメブース、フェアトレード商品の販売や世界の雑貨を販売するワールドバザールブース、日本文化の体験ブースなど、世界各国の多彩な外国文化に触れられる内容が盛りだくさん！ぜひご来場ください。



ワールドステージ



ワールドバザールブース



テイクアウトグルメブース



日本文化体験ブース

- 日時：2021年10月9日(土)・10日(日) 10:00～15:00
 - 会場：金沢市庁舎前広場
 - 入場料：無料／雨天決行
 - 問い合わせ：金沢国際交流財団
- ※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止となる場合もあります。
- TEL：076-233-8000 URL：http://www.kief.jp

外国人フォトコンテスト ～金沢はステキな場所・人・モノにあふれてる！～

金沢市在住の外国人のみなさんから、「金沢で故郷を思い出す場所や大切な場所」「金沢の暮らしを支える人や仲間」「金沢で出会ったお気に入りのモノ」をテーマに募集した写真を展示します。写真を見た方は、展示作品の中から一番気に入った作品に投票できます。投票数の多い作品に、最優秀賞1名、優秀賞1名、入賞3名を決定します。会場でお気に入りの写真を見つけて投稿してください！当財団のHPからも投票することができます。

- 日時：2021年10月16日(土)～31日(日)
- 会場：本町交流スクエア (本町1-5-3 リファール2F)
- 入場料：無料
- 問い合わせ：金沢国際交流財団 TEL：076-220-2522 URL：http://www.kief.jp

国際交流団体活動予定

劇団アンゲルス

●創立25年記念公演「海神別荘」泉鏡花作

日時：12月16日(木)、17日(金)、18日(土)

場所：石川県教育会館ホール (予定)

内容：浦島太郎の物語に出てくる海の中の竜宮城が「海神別荘」と名付けられている。城の主は乙姫様の弟君。この王子様が地上(陸)から嫁を迎えるという筋立て。

問合せ：担当 西よしお

電話：080-3271-3204 E-mail：nzyoshio@gmail.com

新規職員のあいさつ

(公財)金沢国際交流財団 事務局員 阿部愛沙大



皆さん、こんにちは！今年の4月より勤務している阿部愛沙大(あさひろ)と申します。私は新潟県出身ですが、大学に入学した2014年からは、金沢での生活を続けています。

大学では、国際関係や日本語教育について勉強しました。また在学中、カナダのケベック州モンリオールに10か月ほど交換留学し、移民と一緒にフランス語を勉強したり、言語政策についても学んだりもしました。さらに、多様な文化的背景を持つ人々が現地で教育を受け、同じカナダ人として、共に生活している様子を見て、日本での多文化共生やそのための日本語教育について興味・関心を持つようになりました。

今こうして学生時代からご縁のあった金沢国際交流財団で働くことになりました。これまで金沢市でも国際交流の促進や多文化共生社会の実現に向けた様々な取り組みが行われてきていると思います。一朝一夕にはいかないことだとは思いますが、これから市民の皆さんと一緒に、誰もが孤立することなく安心して暮らせるような多文化共生のまちづくりを進めていきたいと思っています。よろしくお祈りします！

発行・問い合わせ先



KANAZAWA
INTERNATIONAL
EXCHANGE
FOUNDATION

(公財)金沢国際交流財団

〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール2F

Phone (076) 220-2522

F A X (076) 220-2527

URL：http://www.kief.jp

E-mail：kief@kief.jp

